

平成23年6月15日

## 第4期 決算公告

東京都新宿区神楽坂四丁目1番1号

いきいき世代株式会社

代表取締役 本間 尚登

## 平成22年度（平成23年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	759,458	保険契約準備金	617,663
現 金	79	支 払 備 金	44,700
預 貯 金	759,379	責 任 準 備 金	572,962
有形固定資産	15,765	再 保 險 借	180,556
建 物	3,616	そ の 他 負 債	153,940
動 産	12,149	未 払 法 人 税 等	68,233
無形固定資産	63,505	未 払 金	26,739
ソフトウェア	35,015	未 払 費 用	19,796
利 用 権	24,500	預 り 金	2,612
その他の無形固定資産	3,990	仮 受 金	27
再 保 險 貸	191,554	そ の 他 の 負 債	36,530
そ の 他 資 産	174,845	退 職 給 付 引 当 金	14,018
未 収 利 息	8	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	28,074
未 収 金	156,375	負 債 の 部 合 計	994,253
前 払 費 用	10,148	(純資産の部)	
預 託 金	8,311	資 本 金	36,000
その他の資産	—	利 益 剰 余 金	266,826
繰延税金資産	57,950	利 益 準 備 金	360
供 託 金	34,000	繰 越 利 益 剰 余 金	266,466
		株 主 資 本 合 計	302,826
		純 資 産 の 部 合 計	302,826
資 産 の 部 合 計	1,297,079	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,297,079

平成22年度 { 自 平成22年4月 1日  
至 平成23年3月31日 } 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	2,669,267
保 険 料 等 収 入	2,645,455
保 険 料	1,555,489
再 保 険 収 入	1,089,966
回 収 再 保 険 金	358,547
再 保 険 手 数 料	674,532
再 保 険 返 戻 金	3,406
そ の 他 再 保 険 収 入	53,479
責 任 準 備 金 等 戻 入 額	17,640
支 払 備 金 戻 入 額	17,640
資 産 運 用 収 益	212
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	212
そ の 他 経 常 収 益	5,958
経 常 費 用	2,433,349
保 険 金 等 支 払 金	1,565,182
保 険 金 等	541,220
解 約 返 戻 金 等	5,186
再 保 険 料	1,018,776
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	99,755
責 任 準 備 金 繰 入 額	99,755
事 業 費	731,769
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	661,206
税 金	23,951
減 価 償 却 費	34,917
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,498
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	8,194
そ の 他 経 常 費 用	36,641
経 常 利 益 ( 又 は 経 常 損 失 )	235,918
特 別 利 益	8,569
そ の 他 特 別 利 益	8,569
税 引 前 当 期 純 利 益	244,487
法 人 税 及 び 住 民 税	101,927
法 人 税 等 調 整 額	△14,239
法 人 税 等 合 計	87,688
当 期 純 利 益	156,798

平成22年度

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目					金 額		
株 資 本	前	期	末	残	本		
	当	期	変	動	金		
		当	期	変	額	高	
		当	期	末	残	額	
					合	計	
						36,000	
						—	
						36,000	
	利 益	前	期	末	残	金	
		当	期	変	動	高	
			当	期	末	残	額
						合	計
						360	
						360	
						360	
繰 越 利 益		前	期	末	残	金	
		当	期	変	動	高	
			当	期	末	残	額
						合	計
							111,827
						△2,160	
						156,798	
						154,638	
						266,466	
	利 益	前	期	末	残	金	
		当	期	変	動	高	
			当	期	末	残	額
					合	計	
						111,827	
						△1,800	
						156,798	
						154,998	
						266,826	
株 主 資 本		前	期	末	残	合	
		当	期	変	動	計	
			当	期	末	残	高
						額	
						147,827	
						△1,800	
						156,798	
						154,998	
						302,826	
	純 資 産	前	期	末	残	合	
		当	期	変	動	計	
			当	期	末	残	高
						額	
						147,827	
						△1,800	
						156,798	
						154,998	
						302,826	

## 〔個別注記表〕

### 《 重要な会計方針に係る事項に関する注記 》

#### 1. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備	6～15年
工具器具備品	5～6年

##### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェアについては、会社所定の利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

#### 2. 引当金の計上基準

##### (1) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職一時金制度に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上しております。

##### (2) 役員退職慰労引当金

役員の退職給付に備えるため、当社の役員規程に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上しております。

##### (3) 大震災保険金等引当金

東日本大震災による決算日以降の支払に備えるため、当年度に限り、当年度末において支払事由が発生していると見込まれる契約のうち、決算日時点で支払または請求がない契約について、合理的に見積もった支払金額を計上しております。

#### 3. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

ただし、資産に係る控除対象外消費税は発生事業年度の期間費用としております。

#### 4. 責任準備金の積立基準

責任準備金は、保険業法施行規則第211条の46の規定に基づき算出した金額を計上しております。

#### 5. 資産除去債務の計上方法

当年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用方針」（企業会計基準適用指針第21号）に基づき、賃借しているオフィスフロアの建物附属設備等現状回復義務にかかる資産除去債務を合理的に見積り、当年度から5年間に亘り償却を行なうこととし、当年度の負担に属する金額を減価償却費で計上し、当該金額を預託金残高より直接減額しております。なお、過年度の除去費用の負担については、見積りが困難であるため、遡及適用をしておりません。これにより経常利益および税引前純利益が530千円減少しております。

## 《 貸借対照表に関する注記 》

1. 有形固定資産の減価償却累計額 **14,242 千円**

### 2. 供託金の内訳

保険業法第 272 条の 5 第 1 項及び同施行令第 38 条の 4 の規定に基づき、保険契約者等の確保のために政令で定められた額の金銭を供託しております。

なお、当年度末における翌年度の供託所要額は、36,000 千円であります。

### 3. 支払備金の内訳

(単位：千円)

内 訳	元受分	出再分	出再分控除後 (当期末残高)
普通支払備金	8,660	5,802	2,857
既発生未報告損害 に対する支払備金	126,796	84,953	41,842
合 計	<b>135,456</b>	<b>90,755</b>	<b>44,700</b>

保険業法施行規則第 211 条の 52 において準用する同規則第 73 条第 3 項および第 71 条第 1 項に規定する、積み立てないことができる再保険を付した部分に相当する支払備金の金額は、90,755 千円であります。

### 4. 責任準備金の内訳

(単位：千円)

内 訳	元受分	出再分	出再分控除後 (当期末残高)
普通責任準備金	587,489	37,422	550,065
異常危険準備金	—	—	22,896
合 計	—	—	<b>572,962</b>

保険業法施行規則第 211 条の 52 において準用する同規則第 71 条第 1 項に規定する、積み立てないことができる再保険を付した部分に相当する責任準備金の金額は、37,422 千円であります。

## 《 損益計算書に関する注記 》

### 1. 正味収入保険料及び正味支払保険金の算出

#### (1) 正味収入保険料

収入保険料	1,555,489 千円
再保険返戻金	3,406 千円
その他再保険収入	53,479 千円
再保険料	1,018,776 千円
解約返戻金等	5,186 千円
差引	588,412 千円

#### (2) 正味支払保険金

保険金等	541,220 千円
回収再保険金	358,547 千円
差引	182,672 千円

### 2. その他経常収益の内訳

その他経常収益の主な内訳は、保険業法第 272 条の 30 第 2 項において準用する法第 145 条第 1 項に規定する「業務及び財産の管理の委託」に基づく、共済会いきいき世代の会からの管理受託手数料であります。

### 3. その他経常費用の内訳

その他経常費用の主な内訳は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に対する大震災保険金等引当金の繰入額であります。

### 4. 出再支払備金戻入額

支払備金戻入額の計算上、差し引かれた再保険を付した部分に相当する支払備金戻入額の金額は、35,815 千円であります。

### 5. 出再責任準備金繰入額

責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた再保険を付した部分に相当する責任準備金繰入額の金額は、4,174 千円であります。

### 6. 利息及び配当金収入の内訳

預貯金利息	212 千円
-------	--------

### 7. 減価償却費の内訳

有形固定資産	4,891 千円
無形固定資産	29,495 千円

### 8. 退職給付費用の総額

3,498 千円

### 9. 役員退職慰労給付費用の総額

8,194 千円

## 10. 特別利益の内訳

その他特別利益の主な内訳は、保険業法第 272 条の 30 第 2 項において準用する法第 145 条第 1 項に規定する「業務及び財産の管理の委託」の終了に基づく共済会いきいき世代の会からの契約・財産等受入に伴う受入金であります。

## 《 株主資本等変動計算書に関する注記 》

### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

株式の種類	前年度末 株式数	当年度 増加株式数	当年度 減少株式数	当年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	720	—	—	720
合計	720	—	—	720

### 2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額 1,800 千円

(2) 基準日が当年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌年度になるもの

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たり配当金	基準日	効力発生日
平成 23 年 6 月 10 日 定時株主総会	普通株式	1,080 千円	利益 剰余金	1,500 円	平成 23 年 3 月 31 日	平成 23 年 6 月 13 日

(注) 上記配当は、平成 23 年 6 月 10 日開催の定時株主総会にて決定いたしました。

## 《 税効果会計に関する注記 》

### 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

#### 繰延税金資産

保険契約準備金	23,442 千円
退職給付引当金	5,076 千円
役員退職慰労引当金	10,165 千円
大震災保険金等引当金	13,227 千円
未払費用	5,452 千円
その他	586 千円
<b>繰延税金資産合計</b>	<b>57,950 千円</b>

### 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異の主要な内訳

法定実効税率	<b>36.2%</b>
(調整)	
中小法人等の軽減税率 (18%)	△0.5%
住民税均等割額	0.1%
その他	0.0%
<b>税効果会計適用後の法人税等の負担率</b>	<b><u>35.8%</u></b>

## 《 リースにより使用する固定資産に関する注記 》

該当事項はありません。

## 《 金融商品に関する注記 》

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については、「資産運用基本方針・管理規程」に基づき、預金（外貨除く）および国債等の有価証券に限定し、銀行等金融機関からの借入による資金の調達およびデリバティブの取引は予定しておりません。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

市場関連リスクや信用リスクについては、「資産運用リスク管理方針・管理規程」にしたがい、リスクの状況について、定期的にリスク管理委員会および取締役会等へ報告される体制としています。

定期預金については、「定期預金運用ガイドライン」に基づき、預金対象限度額を定め、預金対象金融機関の対象先および格付けを限定し、同一預金先への預金限度額（全体に対する割合）を設定した上で、金利動向・利率・信頼性・利便性等を総合的に評価して決定する体制としています。さらに、中途解約の要件などを定め、定期的にモニタリングした結果をリスク管理委員会等へ報告することとしています。

## 2. 金融商品の評価等に関する事項

平成 23 年 3 月 31 日（当年度決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

内 容	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金及び預貯金	759,458	759,458	—

### （金融商品の時価の算定方法）

現金及び預貯金は、1 年以内の短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## 《 関連当事者との取引に関する注記 》

### 1. 親会社及び法人主要株主等

（単位：千円）

種 類	会 社 等 名 称	議 決 権 等 の 被 所 有 割 合	関 連 当 事 者 と の 関 係	取 引 の 内 容	取 引 金 額 (注)	科 目	期 末 残 高 (注)
法 人 主 要 株 主	いきいき㈱	(被所有) 直接 14.68% 間接 0.00%	広告宣伝等 発 注	広 告 宣 伝 等	177,011	未払金	11,025
法 人 主 要 株 主	いきいき ネ ッ ト ㈱	(被所有) 直接 14.68% 間接 0.00%	広 告 宣 伝 等 発 注	広 告 宣 伝	19,579	未払金	—

（注）上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

### （取引条件及び取引条件の決定方針等）

上記取引については、市場の実勢価格等を勘案し、価格交渉の上で決定しております。

## 《 1 株当たり情報に関する注記 》

- 1 株当たり純資産額 **420,592 円 86 銭**
- 1 株当たり当期純利益 **217,776 円 34 銭**

## 《 その他の注記 》

金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 《 重要な後発事象に関する注記 》

該当事項はありません。